

～着る、あげる、もらう、広める、受け継ぐ | 着る、あげる、捨てる～

ファッション・ファッションから考える国際開発

9/27 (水)

10:00-12:30
(受付 9:30-)

講演 / ディスカッション /
おいしい料理と懇親会

会場 SOCO kitchen & bar

食事提供 R.M.Asili Cafe & Dining

参加費 (昼食込) 1500 円



お申込み



9/24(日)まで

ゲストスピーカー
遠藤聡子さん



ファッションはその地域の歴史、文化、社会などを色濃く反映しています。

アフリカでは、世界との交わりや近代化の中で独自の発展を遂げたプリント布と、それを使った仕立て文化が見られます。そんなアフリカンファッションについて、研究を通して向き合ってきたゲストと一緒に、考えてみませんか？

スピーカー

京都大学総合生存学館

国際開発研究会

テーマ①

「アフリカにおける古着の受容」

京都大学総合生存学館国際開発研究会では、学生が主体となってテーマを設定し、さまざまな角度から国際開発を見つめ直すための議論を行なっています。

今回は、国際開発の要の地域であるアフリカのファッションに焦点を当てて、国際開発の在り方を考えていきます。



ゲストスピーカー
遠藤聡子

さん

テーマ②

「パーニュの文化誌：
現代西アフリカ女性の衣服の成立」

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科指導認定退学。専攻はアフリカ地域研究。博士（地域研究）。在ブルキナファソ日本国大使館専門調査員を経て、外務省入省。現在国際協力局国別開発協力第三課・課長補佐。主な著書に「パーニュの文化誌：現代西アフリカ女性のファッションが語る独自性」（昭和堂）がある。

主催

京都大学大学院総合生存学館国際開発研究会

お問い合わせ：idrg-gsais@googlegroups.com

MAP



京都大学 大学院 総合生存学館

思修館

